

第7章 仮置場付近の交通実態に関する調査

章内目次

7. 仮置場付近の交通実態に関する調査	7-1
7.1. 調査計画立案	7-1
(1) 調査概要	7-1
(2) 調査場所	7-1
(1) 調査日時・スケジュール	7-1
(2) 実施方法	7-2
7.2. 調査結果	7-5
7.2.1. 交通量調査結果	7-5
(1) 交差点交通量	7-5
(2) 信号現示	7-7
7.2.2. 滞留長調査結果	7-8

7. 仮置場付近の交通実態に関する調査

東京外かく環状道路 中央ジャンクション建設工事で使用する埋め戻し土として、仮置場土砂仮置場の仮置土を運搬するダンプが仮置場周辺（XXXXXXXXXX）を走行する際の交通影響を把握するため、当該交差点についてビデオ撮影と交通調査を行う。

7.1. 調査計画立案

(1) 調査概要

XXXXXXXXXXを俯瞰できるXXXXXXXXXXより、ダンプトラック走行時間帯のXXXXXXXXXXの様子をビデオカメラにて撮影する。

また、現地においてダンプ通行状況（搬出時の交差点北行き・南行き）、信号現示（朝1回、昼1回、夕1回）を調査する。

(2) 調査場所

- ① XXXXXXXXXX（XXXXXXXXXX）XXXXXXXXXX
- ② XXXXXXXXXX

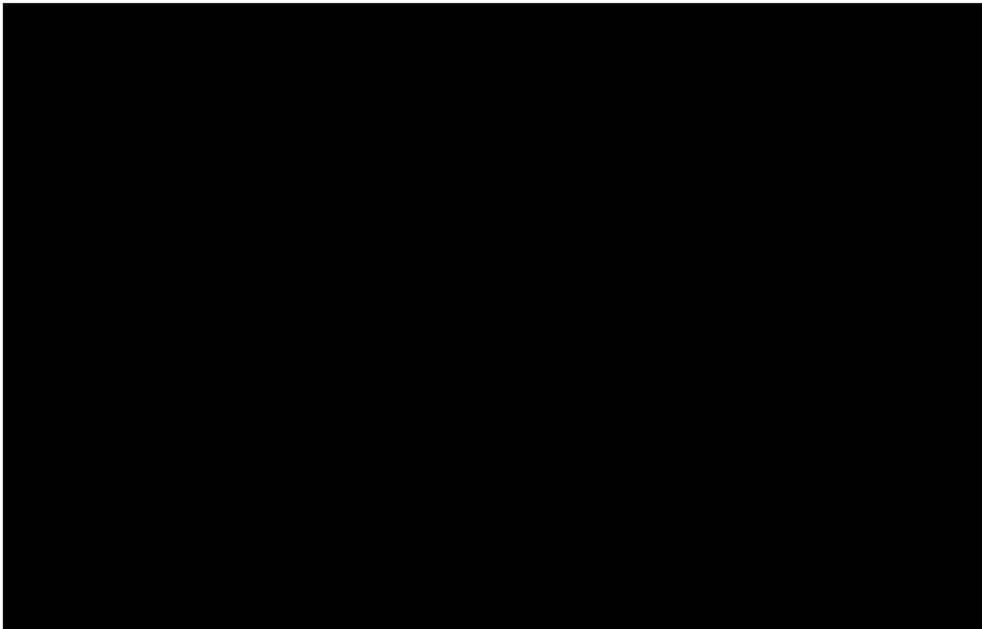


図 7-1 調査場所

(1) 調査日時・スケジュール

1) 調査日時

令和3年11月5日（金）（予備日：11月8日（月））

2) 調査スケジュール

交通調査 8：00～17：00

ビデオ撮影調査 9：00～17：00

(2) 実施方法

1) 交差点調査

- ・ 交差点に調査員 2 名を配置し、[REDACTED]を北行き・南行きに通過する外環事業に係るダンプ（下図のステッカーが目印）の通行状況（通過時刻、台数）を調査する。
- ・ 信号現示（朝 1 回、昼 1 回、夕 1 回）を調査する。

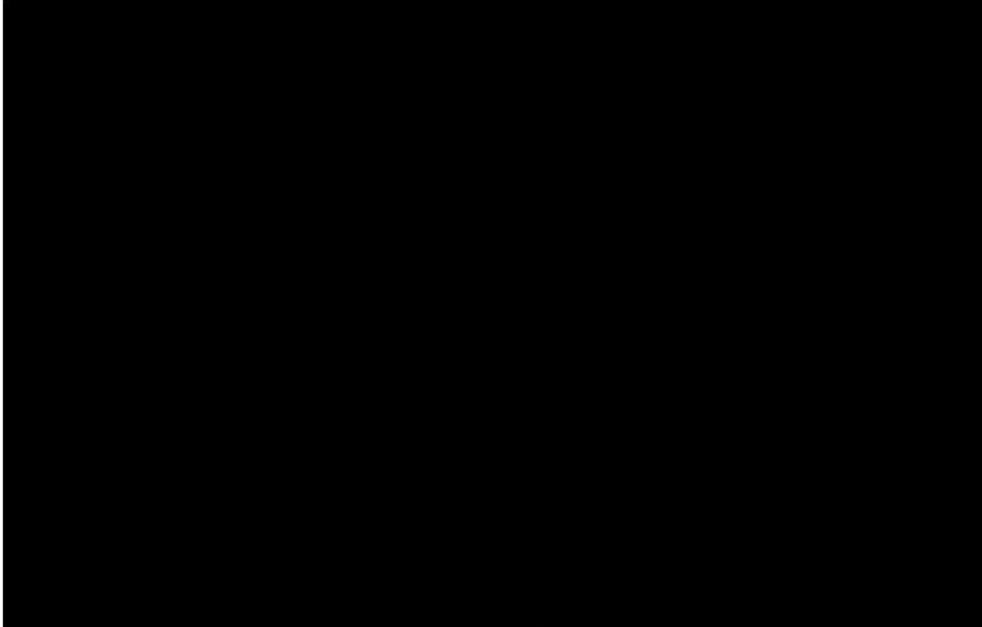


図 7-2 調査イメージ

7. 仮置場付近の交通実態に関する調査

地点No.	1	地点名		信号機:	(有) ・ 無		
調査項目 ○ 印実施	①. 自動車交通量 (指定車両のみ通過時刻の記録)) 調査方向	→ 1	凡例	測定位置 ○		
	②. 歩行者交通量 (分類:) 調査方向	---> ア				
	③. 渋滞長調査 (頻度:) 調査方向	← a				
	④. 信号現示調査 (頻度:) 調査方向	∩∩ A				
	⑤. その他 ()					
[Redacted Area]			測定	測定方向	測定員	交番員	合計
			A	1	1	1	3
			B	2	1		
			C				
			D				
			E				
			F				
			G				
			H				
			I				
			J				
合計				2	1	3	
備考							
方向毎に指定されたダンプトラックの通過した時刻を記録する							
調査時間: 8:00-17:00							
[Redacted Area]			現地写真1				
[Redacted Area]			現地写真2				
[Redacted Area]							
参考車両写真							

図 7-3 調査票

2) ビデオ撮影調査

- ・ [] []にて、[]を俯瞰で臨む位置に三脚を用いてビデオカメラを設置し、撮影を行う。
- ・ []の各流入部の様子が認識できるよう、ビデオカメラのズーム機能を用いて適切な画角で撮影を行う。
- ・ 撮影中は、必ず調査員（2名体制）が立ち会うものとする。



図 7-4 撮影画角イメージ

7.2. 調査結果

7.2.1. 交通量調査結果

(1) 交差点交通量

においての時間帯別の外環事業ダンプおよび一般車両の時間帯別交通量は、外環事業ダンプが計 120 台、一般車両は計 5,144 台（大型車 4,144 台、小型車 1,000 台）、交差点交通量のピーク 11 時台が 712 台/時であった。

また、南行きの時間帯別交通量はピーク 13 時台が 76 台/時、北行きの時間帯別交通量はピーク 13 時台が 55 台/時であった。時間帯別交通量を図 7-5～図 7-8 に示す。

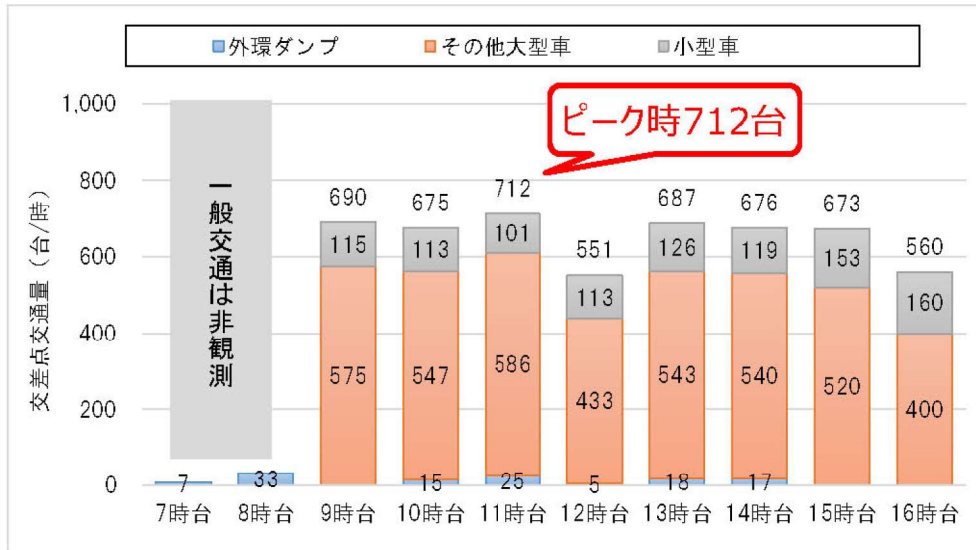


図 7-5 時間帯別交差点交通量(全流入部合計)



図 7-6 観測方向(再掲)

7. 仮置場付近の交通実態に関する調査

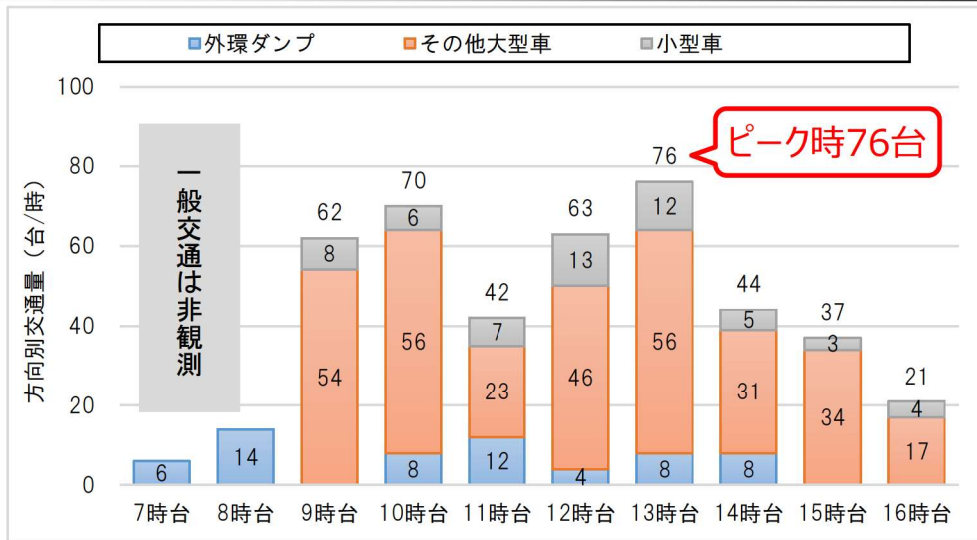


図 7-7 時間帯別交差点交通量(南行き)

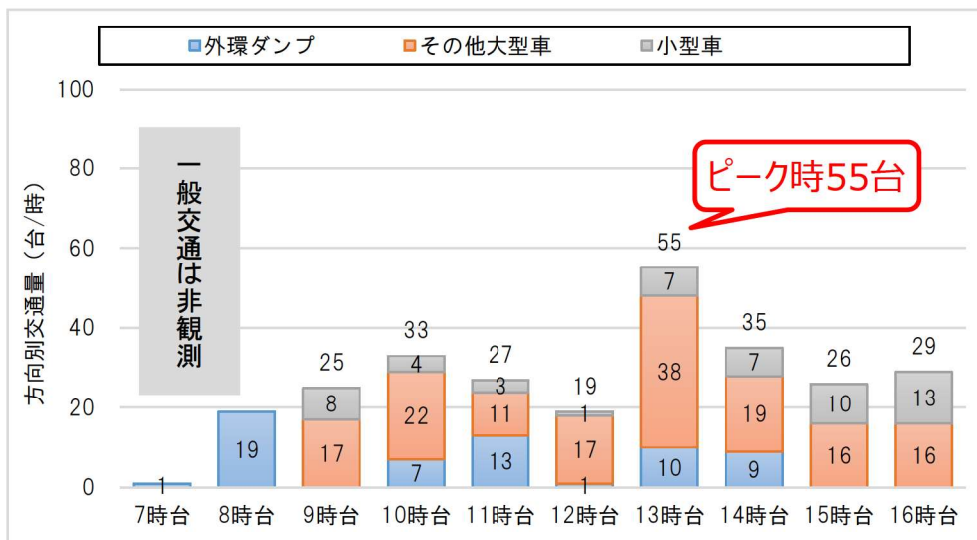


図 7-8 時間帯別交差点交通量(北行き)

(2) 信号現示

信号現示調査の結果を図 7-9 に示す。

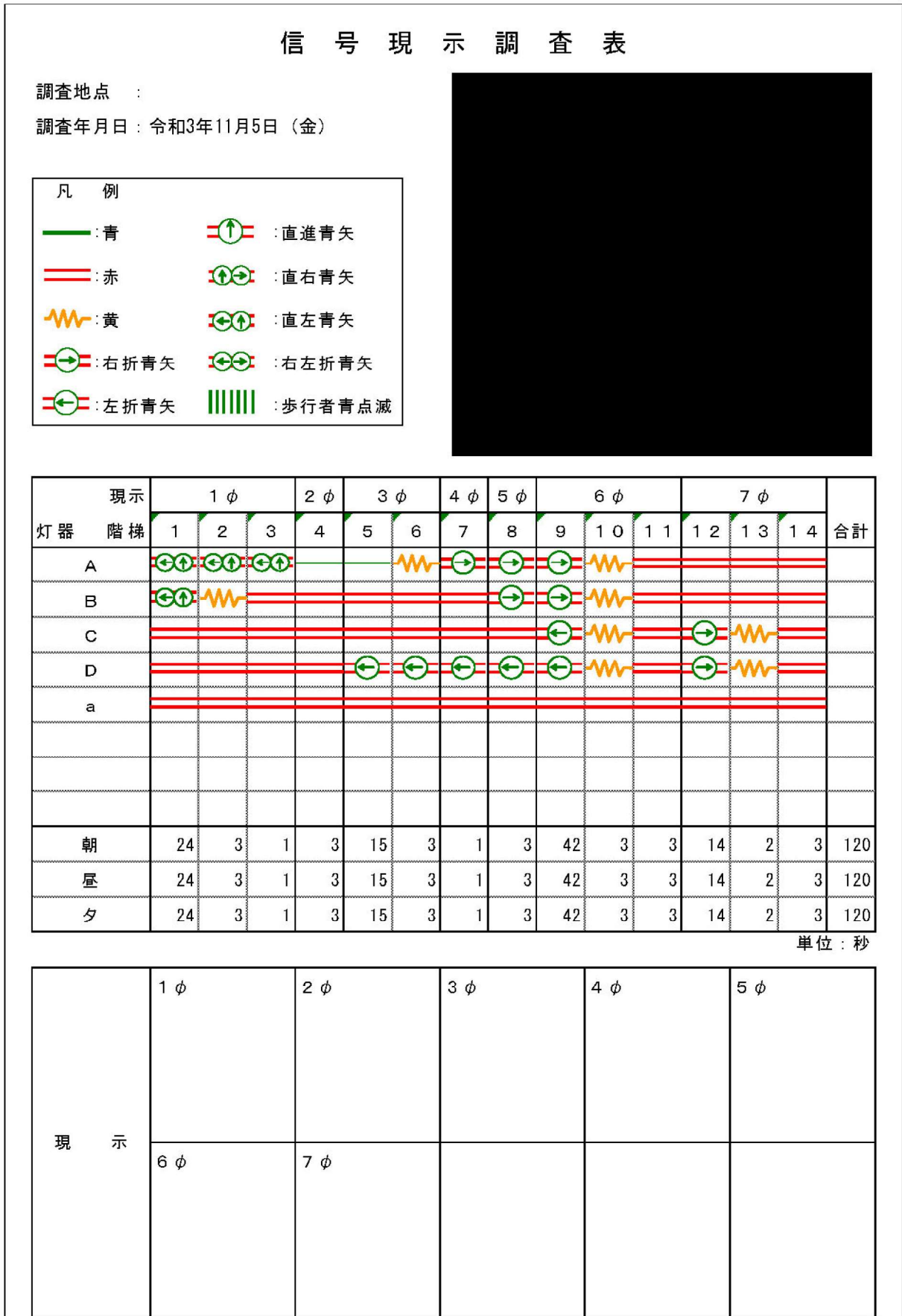


図 7-9 信号現示調査結果

7.2.2. 滞留長調査結果

ビデオ調査により [REDACTED] における観測方向への交通ピーク 13 時の滞留長を整理した。

調査時間帯において、渋滞（捌け残り）の発生はなく、南行きで最大約 70m 程度、北行きで最大約 24m 程度と大きな影響は見られなかった。交差点滞留長を図 7-10～図 7-12 に示す。

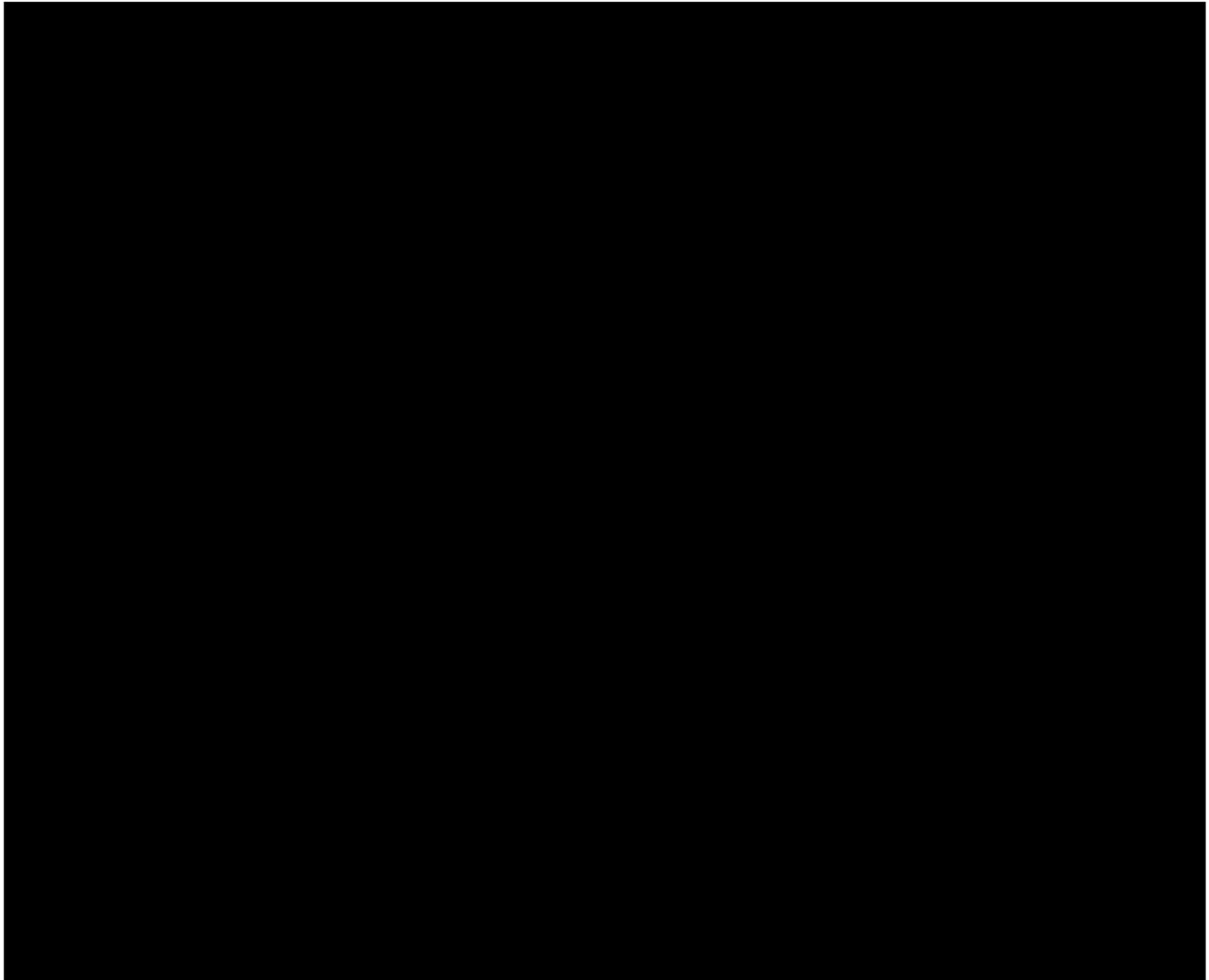


図 7-10 観測方向およびピーク時の滞留の様子

7. 仮置場付近の交通実態に関する調査

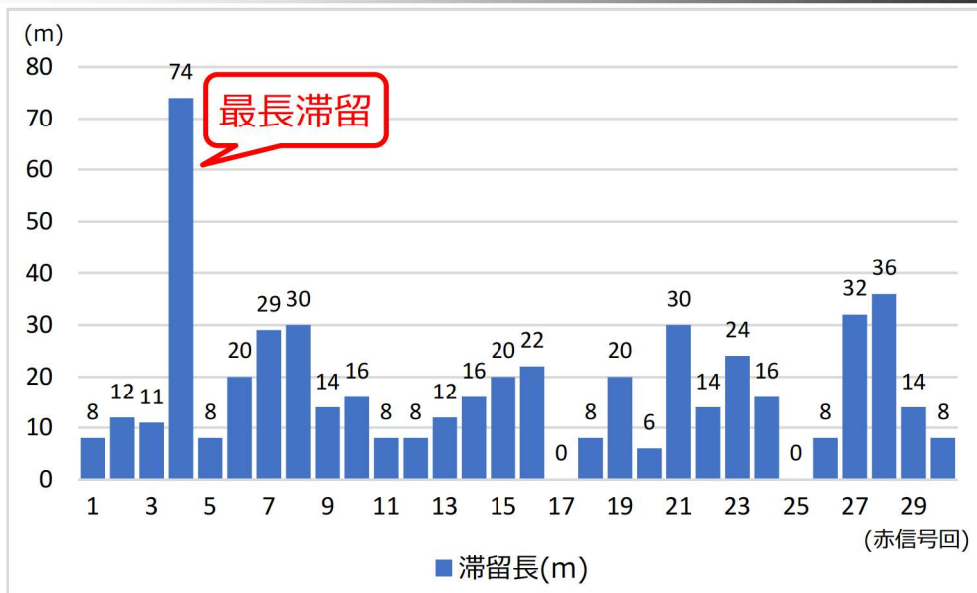


図 7-11 赤信号回ごとの滞留長(南行き)

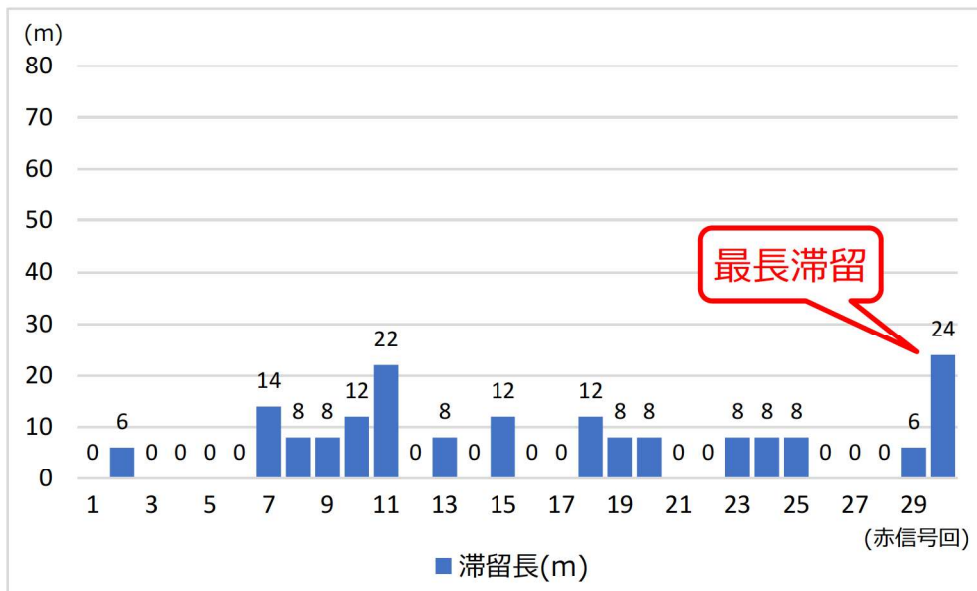


図 7-12 赤信号回ごとの滞留長(北行き)